

先日はてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回のはてがたんは、10月14日(土)で、「ヒヨドリの渡り」がテーマです。ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のはてがたん下見は、10月8日(日)の9:30からです。

9月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼ふれあいライン→香取神社→藤棚→手賀沼遊歩道→市民農園前→けやき広場
- 観察日時と天気：2017年9月9日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：26人(大人19人、子ども7人)
- 市民スタッフ：7人(小泉伸夫、弘實さと子、石原直子、伊東茂子、木村稔、染谷迪夫、湯瀬一栄) ※太字は今月の案内人
- 鳥博職員：1人(齊藤安行)

観察した生き物の記録

- 【鳥類】カモ科：カルガモ／ハト科：キジバト／ウ科：カワウ／サギ科：ダイサギ、コサギ／カワセミ科：カワセミ／キツツキ科：コゲラ／モズ科：モズ／カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス／シジュウカラ科：ヤマガラ、シジュウカラ／ツバメ科：ツバメ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／ムクドリ科：ムクドリ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ*／ホオジロ科：ホオジロ／(家禽および外来種)ドバト
- 【は虫類】カナヘビ科：ニホンカナヘビ
- 【両生類】アカガエル科／トウキョウダルマガエル、ウシガエル
- 【魚類】ダツ目：ミナミメダカ
- 【甲殻類】サワガニ科：サワガニ
- 【昆虫】チョウ目：ジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ、アゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモン、アカボシゴマダラ、ゴマダラチョウ(幼虫)*、コムスジ、ヒメジャノメ、ダイミョウセセリ、イチモンジセセリ、キマダラセセリ、ヤマトシジミ、チャドクガ(幼虫)モモイロスズメ(幼虫)、ホシホウジャク(幼虫)、モモブトスカシバ*、クルマスズメ*、オビガ(幼虫)*、タケカレハ*、モンクロシャチホコ(幼虫)、カノコガ、ビロードハマキ(幼虫)／コウチュウ目：ヤノナガチビタマムシ、ナナホシテントウ、クロウリハムシ、マメコガネ、カブトムシ*、オジロアシナガゾウムシ*、オオヒラタシデムシ、ホソハラビロヘリカメムシ／トンボ目：ウスバキトンボ、オニヤンマ*、チョウトンボ、ウチワヤンマ、シオカラトンボ、コシアキトンボ*、ノシメトンボ、アジアイトトンボ、クロイトトンボ／バッタ目：オンブバッタ、ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、ヒシバッタ、イボバッタ、クルマバッタモドキ、ヒナバッタ*、キンヒバリ(声)、ツツレサセコオロギ(声)、ハラオカメコオロギ、モリオカメコオロギ(声)、エンマコオロギ、ミツカドコオロギ(声)*、マダラスズ、シバズ(声)、カネタタキ(声)、クサヒバリ(声)*、クビキリギス、ウスイロササキリ、オナガササキリ*／カマキリ目：オオカマキリ／カメムシ目：アブラゼミ、ミンミンゼミ(声)、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ(声)、ヨコヅナサシガメ、アオバハゴロモ、アワダチソウグンバイ*
- 【クモ類】クサグモの仲間、オニグモ、ナガコガネグモ、ジョロウグモ
- 【植物(花)】キク科：ノゲシ、オニノゲシ、ハキダメギク、アメリカタカサブロウ、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、ベニバナボロギク*、ハキダメギク、オオジシバリ／ブドウ科：エビヅル／アカネ科：ヘクソカズラ／カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ、アカカタバミ*／ハエドクソウ科：ハエドクソウ／シソ科：ヒメジソ、クサギ／ツユクサ科：ツユクサ／キツネノマゴ科：キツネノマゴ／イネ科：セイバンモロコシ、マコモ、シマスズメノヒエ／ウリ科：カラスウリ*／アカバナ科：ヒレタゴボウ、アカバナユウゲショウ／カヤツリグサ科：ヤマイ／ヒユ科：イノコヅチ、ナガエツルノゲイトウ／オモダカ科：オモダカ／マメ科：ヤマハギ、クズ、ツルマメ、クサネム／タデ科：ミゾソバ、オオイヌタデ、ミズヒキ／フウロソウ科：ゲンノショウコ／ヒガンバナ科：ヒガンバナ

(注) *印は8月27日の下見の時に確認した種

観察した生き物の記録

今回のてがたんのテーマは「昔はいなかった生き物たち」でした。

鳥の博物館開館後約30年経ちましたが、その間に手賀沼ではコブハクチョウやカワウが見られるようになったり、夏にウグイスのさえずりが聞かれるようになったり、昔はいなかった生き物たちがすみつくようになりました。今見られるそんな生き物を探しながら散策した結果、ツマグロヒョウモンやナガサキアゲハ、そして2014年頃から見られるようになったアカボシゴマダラなどを観察することができました。



今月の案内人 小泉伸夫さん



弘實さんと子さん



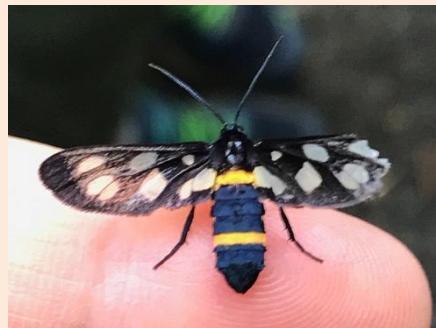
①路傍のスミレについていたツマグロヒョウモンの幼虫。てがたんコースでは2007年から出現。



②ハマキガ科のヒロードハマキの幼虫。



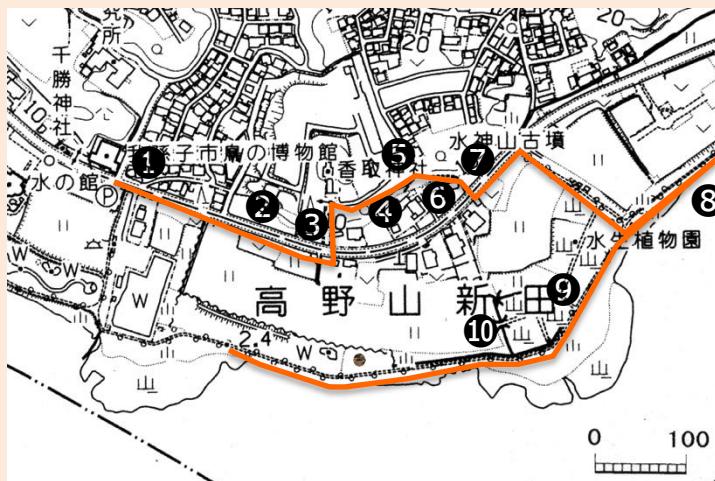
③スズメガ科のホシホウジャクの幼虫。



④ハチに似たデザインのカノコガ（ヒトリガ科）。



⑤エノキの樹液を吸うヤノクチナガアブラムシと分泌する蜜に群がるクロクサアリ。



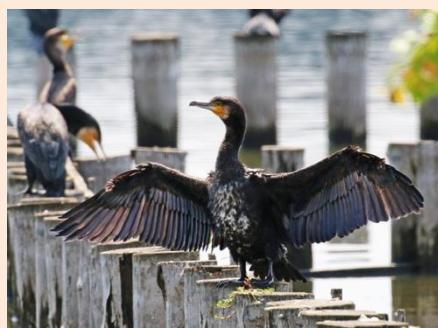
歩いたルートと観察した生き物



⑥チャノキについていたチャドクガ。
(危険生物、要注意!)



⑦参加した小学生が見つけたサワガニの稚ガニ。



⑧翼を広げるカワウ。手賀沼で再び見られるようになったのは約30年前。



⑨てがたんコースでは2014年から姿が見られるようになった外来種のアカボシゴマダラ。



⑩てがたんコースでは2006年頃から見られるようになったナガサキアゲハ。

今月の鳥 コブハクチョウ カモ目カモ科

コブハクチョウは、現在全国の池や沼で見られますが、日本の鳥ではありません。1952年に皇居外苑の塚に放たれたという記録や1975年に函館市の大沼公園に放たれた1つがいと1977年にウトナイ湖で繁殖したという記録があります。その後も各地の池にコブハクチョウが放たれ、全国に広がりました。

手賀沼では1987年に一つがいと確認され、1990年以降毎年繁殖しています。手賀川にすむ手賀沼由来と考えられる個体群を含めると約100羽にまで増えました。そして、田植え直後の水田に入り込んだり、稲穂を食べたり、困った問題も出始めています。



抱卵するコブハクチョウ (4月)

※日本鳥類目録(日本鳥学会 2012)には野鳥としてもリストアップされていますが、1933年伊豆諸島八丈島で記録されて以降、確実な野生での国内記録はありません。

てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。